

今年も雪模様の祝賀ロードレース

1月12日の成人の日、第46回多久市成人祝賀ロードレースが開かれ、市内外から総勢432人が参加しました。時折雪降る寒空の下、頬を赤くした選手たちが次々にゴールイン。あまりの寒さのため、商工会青年部の豚汁サービスタントの前には、体を温める人々で長蛇の列ができました。



2 kmの部 小学生女子 ①川崎 菜緒 (川副陸上) ②岡本 美咲 (川副陸上) ③原 加奈子 (川副陸上)	3 kmの部 中学生女子 ①泉 静里菜 (多久中央中) ②荒川 紅葉 (塩田中) ③田中 理菜 (多久中央中)	5 kmの部 中学生男子 ①中島 哲 (塩田中) ②山崎 智裕 (思斉中) ③中島 純平 (塩田中)
小学生男子 ①塚原 大貴 (思斉ジュニア陸上クラブ) ②熊森 渉 (吉田球友) ③吉岡 幸輝 (思斉ジュニア陸上クラブ)	一般女子 ①鶴丸 知子 (多久高校) ②山口有里紗 (小城市陸協) ③中村 綾 (小城市陸協)	一般男子総合 ①福田 憲五 (小城市陸協) ②田中 健人 (佐賀北高校) ③溝田 慎悟 (鳥栖工高校)
40歳以上男子 ①菅崎 豊 (塩田中学校) ②大石 一 (小城市小城町) ③堤 博文 (佐賀県食ランニング)		

○の数字は順位・敬称略



市長のWindow

▼市民のみなさんへ

オバマ米国大統領の誕生～新しい責任の時代

やはりここはこの人の話から始めるのがいいだろう。アフリカ系市民として生まれ、父親はレストランに入るにも困難さを経験した。ハーバード大学を経て、市民活動支援の弁護士として活躍。貧民街での活動から地方政治家に進み、さらに上院議員へ。他候補応援演説で一躍全国的に知られ、4年後に大統領候補となる。同じ政党では知名度抜群の元大統領夫人と競い、知名度・集金力・経験のハンデをもっともせず勝ち進む。その間に全米に広がった1300万人の支持者はインターネットとメールで彼との絆を持った。「自分が彼を支えている」と共感する人々は勝利演説や大統領就任式に集まった。

1人の存在は小さいかもしれないが、その結集が時代を創り、時代を動かす。その希望と信念が新時代への扉を開いた。

そして彼、バラク・H・オバマ氏は米国第44代大統領になった。初の黒人系大統領。キング牧師も熱く語った夢が今実現した。不可能とも思えた夢を具現化できることこそが米国の誇りと語る。就任演説では「新しい責任の時代」を訴えた。憲法にある「自由・平等・博愛」の精神を体現しようとの意欲が人々に広がる。選挙で人々は一斉に声をあげた。「Yes we can.」。そう、「私たちにはできる」だから進もうのメッセージが期待と共感の輪を広げた。だがそのフレーズは就任演説にはない。厳しい現実と直面し、新時代づくりへの挑戦を語った。

それなら我々から「Yes you can」と励ましたい。私達も新しい時代への責任を果たそうではないか。理想の帆を揚げ、希望の風を受け、情熱と忍耐のオールを漕ぎ、幾多の困難や苦境を乗り越えて進んできた人々の魂を受け継ぎながら…。 (俊彦)

市長交際費支出状況

▼平成20年度12月分

支出種別	区別	件数	金額(円)
弔慰	今月分	3	15,000
	累計	78	204,125
見舞い	今月分	1	10,000
	累計	6	60,000
御祝	今月分	4	19,255
	累計	40	196,850
賛助	今月分	0	0
	累計	8	47,000
激励金	今月分	0	0
	累計	1	20,000
接遇	今月分	2	3,150
	累計	65	154,950
会費	今月分	0	0
	累計	13	76,000
その他	今月分	1	5,250
	累計	6	27,260
合計	今月分	11	52,655
	累計	217	786,185

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115